

第3学年1組 国語科学習指導案

指導者 ○○ ○○

1 単元「いにしへの心を受け継ぐ」～古典の言葉を引用し、メッセージを贈ろう～

2 学習の構想

【このような生徒だから】

本学級の生徒は、2年次までの学習を通して、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた題材を整理し、伝えたいことを明確にして書くことの学習をしてきた。しかし、全国学力・学習状況調査の結果を見ると、「伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書くことができるかどうかをみる」設問においての正答率が49%と低く、自分の考えを分かりやすく伝わるように工夫して書くことを苦手としている生徒が多いことがわかる。そこで、今回は、古典の学習で学んだ名言や名句を引用し、身近な人にメッセージを贈るという活動を通して、表現の仕方を工夫したり資料を適切に引用したりして、自分の考えが分かりやすく伝わる文章を書く学習を行う。その際、書いたものを班で交流することで、読み手からの助言を踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすようにしたり、目的や意図に応じた表現になっていることを確かめて、文章全体を整えたりする場を設定する。

【このような内容を】

本題材は、学習指導要領「書くこと」のうち「エ 目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えること。」をねらいとして設定されている。そこで、古典作品の内容を活かしたメッセージを身近な人に贈る活動を通して、古典作品の文章の価値を理解し、目的や相手にふさわしい文章の種類を選び、表現の仕方を工夫して、自分の考えが分かりやすく伝わる文章を書くようにしていきたい。さらに、班でお互いの作品を読み合うことを通して、目的や意図に応じた表現になっているかを確かめ、文章全体を整えるようにしていきたい。

【このような指導で】

一次から三次までの学習で、歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しませる。
四次では「古典名句・名言集」を読み、古典作品を引用したメッセージを、身近な人に宛てて書く取り組みを行う。贈る目的や相手の状況に応じた名句・名言を選びやすくするために、今までに学習した作品だけでなく、教科書に記載されていない言葉もワークシートで紹介する。次に、目指すメッセージ作品へのイメージが持てるように、作品例を提示する。そして、贈る目的や相手に応じた文章の種類を選ばせる。書く際には、構成のパターンを確認し、書くことへの抵抗を少なくする。さらに、メッセージの完成に向けて、班でお互いの文章を読み合い、アドバイスの視点を基に評価できる箇所や改善点を伝え合う。その助言を基に推敲し、完成させる。

【このような視点を意識して】

◎自他の個性を尊重し、協力・して物事に取り組む **＜A 人間関係形成・社会形成能力＞**

【このような生徒に】

＜単元の目標＞	
知識及び技能	古典作品の内容を理解し、贈る目的や相手の状況に応じて、正しく選択している。
思考力、判断力、表現力等	「書くこと」において、贈る目的や意図、相手の状況に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。
学びに向かう力、人間性等	メッセージをよりよく完成させるために、交流し評価し合う場では、アドバイスの視点を基に、積極的に意見を出している。

3 単元計画（全時間）

A…人間関係形成・社会形成能力 B…自己理解・自己管理能力 C…課題対応能力 D…キャリアプランニング能力

次		主な学習活動	指導上の留意点（○），評価規準と方法（◇）	視点
一	2	<ul style="list-style-type: none"> ・三大和歌集について特徴を大まかにとらえる。 ・古典特有の語句の使い方や表現の効果に留意しながら、「古今和歌集仮名序」を音読し、古典の世界に親しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 三大和歌集の特徴について大まかにおさえ、和歌の学習への見通しを持たせる。 ○ 古典の世界に親しみをもちさせるために、歴史的背景や効果的な表現方法などに留意して「仮名序」の内容を読み取らせる。 ○ 歴史的仮名遣いや対句表現・係り結びなどに留意して朗読させる。 ◇ 三大和歌集の特徴をおさえることができる。 ◇ 「古今和歌集仮名序」を朗読し、和歌に対する故人の思いを捉えることができる。 <p>【知識・技能】《ワークシート》</p>	C
二	4	<ul style="list-style-type: none"> ・三大和歌集を音読し、言葉の響きやリズムを読み味わう。 ・表現の特徴を理解し、和歌に詠まれた古人の心情や情景についてまとめる。 ・心に響いた一首を選び、鑑賞文を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 古典特有の言葉の響きやリズムを読み味わうために、歴史的仮名遣いや句切れなどを確認して音読させる。 ○ 和歌に詠まれた古人の心情や情景を読み取るために、和歌の表現方法について考えさせる。 ○ 和歌についての理解を深め、鑑賞文を書くために、自分の知識や経験と結びつけて考えさせる。 ◇ 古典特有の言葉の響きやリズムを味わいながら、和歌を音読できる。 ◇ 和歌特有の表現の特徴を理解し、古人の心情や情景についてまとめることができる。 ◇ 自分の知識や経験に結びつけた鑑賞文を書くことができる。 <p>【思考・判断・表現 B「書くこと」(1)ウ】 《ワークシート》</p>	C
三	4	<ul style="list-style-type: none"> ・「奥のほそ道」から読み取れる、芭蕉の「旅」についての思いを考える。 ・文章や俳句の表現についてとらえ、芭蕉のものの見方や感じ方についてまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 芭蕉のものの見方を感じ取るために、自分たちの経験した「旅」と比較をさせる。 ○ 芭蕉のものの見方や感じ方をとらえるために、グループで交流し、考えをまとめさせる。 ◇ 芭蕉の「旅」についての考え方を読み取ることができる。 ◇ 文章や俳句の表現から、芭蕉のものの見方・考え方をまとめることができる。 <p>【思考・判断・表現 B「書くこと」(1)イ】 《ワークシート》</p>	A
四	2 / 2 （本時）	<ul style="list-style-type: none"> ・今までに学習した古典の名句・名言の中から自分の心に響いた言葉を引用し、相手や目的に応じた文章を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 古典の名句・名言を、現代の生活につなげるために、贈る相手と目的を考えて、古典の文章を引用したメッセージを書かせる。 ○ 古典の名句・名言を引用して書いた文章を、目的や相手の状況に応じたものにするために、班で交流し、推敲させる。 ◇ 班で交流し、アドバイスをし合うことを通して、古典を引用し、目的や相手に応じたメッセージを書くことができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】《ワークシート》 【思考・判断・表現 B「書くこと」(1)エ】 《ワークシート》</p>	A

4 本時 令和3年11月18日（木） 13：50～14：40 於：3年1組教室

（1）主眼

「目的や意図、相手の状況に応じた文章になっているか」について、グループで交流する活動を通して、目的や相手に応じて古典の名句・名言を引用した文章を書くことができるようにする。

(2) 本時で意識するキャリア教育の視点

意識する能力	意識する視点の具体
A 人間関係形成・社会形成能力	<ul style="list-style-type: none"> ○ グループで交流し、伝える目的や相手の状況に応じた文章を書くことができる。 ○ アドバイスの視点を踏まえて、交流をし合う活動を通して、目的や相手に応じた文章を書くことができる。

(3) 準備 教科書、ワークシート、タブレット、テレビ

(4) 展開

過程	学習活動・内容	指導上の留意点 (○) と評価規準 (◇) 意識するキャリア教育の視点 (◀▶) と手だて (◎)
導入	<p>1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">古典の名句・名言を引用して、相手にふさわしいメッセージを書こう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習内容を明確に把握するために、百人一首を引用した作品例を提示する。
展開	<p>2 メッセージを贈る目的と相手を確認し、ふさわしい文章の種類を選ぶ。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・祖母にはメールがいい。字を拡大して読みやすくできるから。 ・進路のことでいつもけんかをする母には、普段伝えられない感謝の気持ちを伝えたいので、心を込めた手書きの手紙を書く。 </p> <p>3 選んだ言葉の意味と、贈る目的や相手との関連を意識して、メッセージを書く。 (文章構成の視点)</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・贈る目的や相手の状況がわかるように書く。 ・選んだ古典の名句・名言を書く。 ・言葉の解釈を書く。 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目的や相手にふさわしい文章の種類を選びやすくするために、相手や場面を具体的に想起させる。 ・手紙 ・メール ・メッセージカード ○ 相手の状況に応じたメッセージを書きやすくするために文章構成のパターンを紹介する。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> 『名言・名句』と、伝えたい思いが伝わるようにメッセージをまとめよう。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> 『現代語訳』相手に分かりやすい表現で書こう。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> 『贈る名言・名句』 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> 『贈る目的や相手の状況が分かるように、自分の言葉でメッセージを書こう。』 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> 『あて名』誰にメッセージを贈るのかを書こう。 </div> </div>
	<p>4 メッセージを班で読み合い、お互いの文章を読み、推敲させる。 (アドバイスの視点)</p> <p>(1) アドバイスの視点や推敲の仕方について確認する。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・選んだ言葉の意味が、相手の状況にふさわしいか。 ・選んだ言葉の意味が、贈る目的に合っているか。 </p> <p>(2) タブレットを活用し、工夫されている点には青線を、改善が必要な点には赤線を引き、端的にコメントを記述し、助言し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 目的や意図に応じた文章にするために、アドバイスの視点を示し、班で互いに文章を読み合い、推敲させる。 ◀ A 人間関係形成・社会形成能力 ▶ ○ 文章を読み合い、評価できる箇所や改善点を伝えやすくするために、加筆、修正しやすいタブレット上のワークシートを用いて推敲させる。

終 末	<p>5 交流した内容をもとに、メッセージを完成させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新人大会に出場する後輩へ ・ 心配してくれる母へ ・ 受験に向けて悩んでいる友達へ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ メッセージを完成させるために、アドバイスの視点を確認させる。 ◇ 古典の名句・名言を活かした文章を書くことができる。 <p style="text-align: center;">【思考・判断・表現 B 「書くこと」 (1)エ】 《ワークシート》</p>
	<p>6 本時の学習を確認し、振り返る。 (1) メッセージを発表し、本時のまとめを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目的や相手の状況に応じた文章を紹介することで、言葉を贈ることの良さに気付かせる。 <p style="text-align: center;">< A 人間関係形成・社会形成能力 ></p>
<p>生徒記述例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 心配してくれるお母さんへ <p>お母さんは、なかなか勉強に取りかからない私を・・・(中略)・・・の間見つけた言葉を贈ります。</p> <p>「大器は晩成す。」(老子)</p> <p>この言葉の意味は、「大きな器は・・・(中略)・・・」です。お母さんの苦笑いが目に浮かぶけど、いつかはきっと大きな器になるから、今はゆっくり見守ってね。</p> <p style="text-align: right;">真優</p>		
<p>(2) 振り返りを記述する。</p> <p>生徒記述例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達からのアドバイスで、母に喜んでもらえるカードを書くことができた。 ・ 進路で悩んでいる友達へ、励ましの気持ちを伝えるのにぴったりの言葉をアドバイスしてもらって、友達の心に響くメッセージを完成させることができた。 		